

2014年11月13日

エフセキュア、国家による大量監視に関する レポート日本語版を公開

エフセキュア株式会社（本社：東京都港区、カンントリーマネージャ：アリエン ヴァン ブロックランド、以下 エフセキュア）は、英国における国家による大量監視に関するレポートの日本語翻訳版を公開いたしました。

エフセキュアは、英国市民の大量監視に対する関心の高まりを浮き彫りにした調査報告書の日本語翻訳版を公開しました。エフセキュアの英国オフィスが作成した「Nothing to Hide, Nothing to Fear?（隠すものがなければ、恐れることは何もない?）」と題されたこの報告書は、外国人だけでなく自国民を対象に英国政府が実施している監視への懸念に焦点を当てています。

本報告書作成のために委託された調査*では、英国人の86%が大量監視に同意していないことがわかっています。昨年のスノーデン事件により、電子メール、通話、ウェブ検索、ソーシャルメディアのやりとりや地理情報を含め、西洋諸国の諜報機関が一般市民をどれだけ監視しているかが明らかになりました。英国には590万台の監視カメラ（11人につき1台に相当。秘密警察監視下の東ドイツでも市民65人あたり密告者は1人）が設置されているという事実も判明しています。

エフセキュア英国・アイルランド法人のマネージング・ディレクター、アレン・スコットは次のように述べています。「私たちは今、規制のない領域にいます。知らないうちにここまで来てしまったようです。少しずつプライバシー権が侵食されており、多くの人々は自分がどれほど監視されているかということに気付いていません。これは、犯罪容疑者やテロリストの疑いがある者をターゲットにした監視ではありません。人々の生活を全体として監視しているのです。」

こうした大量のデータが将来どのように使用されるかが不透明な中、英国人は懸念を表明しています。調査の結果、回答者の78%が、自らのデータが追跡されることによる影響に懸念を抱いていることが明らかになりました。更に多くのプライバシーを侵害する計画がイギリス政府機関全体に広がっており、この懸念は高まるばかりです。

レポート「隠すものがなければ、恐れることは何もない?」の日本語版はこちらでご覧いただけます。

<http://news.f-secure.com/threatreport>

*エフセキュアの代理として Vital Research & Statistics が実施した調査。成人回答者 2,000 人。2014 年 10 月 10～13 日に実施

*エフセキュアの社名、ロゴ、製品名は F-Secure Corporation の登録商標です。

*本文中に記載された会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

エフセキュア株式会社 会社概要



<http://www.f-secure.co.jp/>

F-Secure – Switch on freedom

エフセキュアは、オンラインセキュリティおよびプライバシー保護を提供するフィンランドの企業です。弊社は、世界中の何百万人もの人々が、監視されることなくインターネットを楽しみ、さまざまなデータを保存や共有する力と、オンラインの脅威からの安全性を提供します。弊社の存在意義は「デジタルフリーダム」のために闘うことです。この動きに参加し、自由のために闘いましょう。1988 年創業のエフセキュアは、NASDAQ OMX Helsinki Ltd に上場しています。

エフセキュア株式会社は、エフセキュア社 100%出資の現地法人として設立され、以降、増収を続けながら順調に企業規模を拡大しており、2009 年 5 月に日本法人設立満 10 周年を迎えました。

会社名: エフセキュア株式会社
カントリーマネージャ: アリエン・ヴァン・ブロックランド
所在地: 〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT 新館 6F
設立: 1999 年 5 月
事業内容: セキュリティ関連製品・サービスの販売およびサポート

本件に関するお問合せ先

エフセキュア株式会社

マーケティング部

Tel: 03-5545-8942 Fax: 03-5545-8945

Email: japan@f-secure.co.jp

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT 新館 6F

URL: <http://www.f-secure.co.jp/>

Blog: <http://blog.f-secure.jp/>